

報告書

第11回  
市民と議会の意見交換会

20年先の  
まちを語ろう



開催日時：2024.10.19 13:30～  
開催場所：アピアホール



# 議長あいさつ

## ～開会にあたって～

皆さんこんにちは。本日は、「第11回市民と議会の意見交換会」に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。

また、平素は、東近江市議会の活動に格別の御理解と御協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

さて、東近江市は市町合併により誕生し、令和7年2月に市制20周年を迎えます。その記念すべき節目にあたりまして、今年の意見交換会では「20年先のまちを語ろう」をテーマに、20年先の東近江市について皆様と語りあう場といたしました。

魅力あふれる東近江市の未来を市民の皆様と議員とが共に語り合い、議論することで、だれもが地域に誇りを持ち、安心して住み続けられるまちを目指したいと考えております。私達議員も、本日は皆様からたくさんの御意見をいただけることを大いに期待しているところでございます。

なお、本日の意見交換会は2部構成で実施いたします。第1部では、市議会の取組報告をいたしますので、議会の仕組みや議員の活動などについて知っていただきたいと考えています。

続いて、第2部では、市民の皆様と議員とが直接意見を交換させていただきますので、有意義な議論ができますことを楽しみにしております。

結びになりますが、本日のこの意見交換会が「市民だれもが地域に誇りを持ち、うるおいとにぎわいのまちの実現」につながる気づきとなりますことを心より願っております。

限られた時間ではありますが、皆様にとって充実した時間となりますよう、議員一同、精一杯努めてまいりますので、活発な意見交換をよろしくお願い申し上げます。意見交換会の開会にあたりましての御挨拶といたします。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。



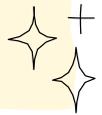
令和6年10月19日  
東近江市議会議長 西澤 由男

# 開催概要



市議会では、議会の活動を市民の皆さんにお伝えし、市政に対する意見などを聞かせていただくために、この意見交換会を開催しています。

11回目となる今回は、約68人に参加いただきました。



今年度は東近江市が誕生して20年目の節目の年です。

そこで、今回は「20年先のまちを語ろう」をテーマに開催しました。

常任委員会ごとに合併時と現在、そして、未来の東近江市に関するデータを用意し、この数字をもとにこれからの東近江市について意見を交わしました。



## プログラム

① 1部：議員による市議会の取組報告  
議会の仕組みや各常任委員会の活動について紹介しました。



② 2部：ワールドカフェ方式の意見交換会  
参加者と議員が各テーブルに分かれて応援塾さんのおいしいコーヒーやお茶を飲みながら和やかに話し合いました。

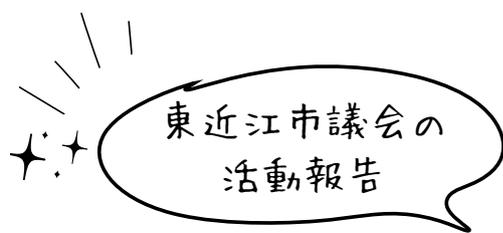


# 第1部

## 東近江市議会の活動報告

市民の皆さんから「議員ってどんな仕事をしているの?」と、聞かれることがあります。

そこで、第1部では、議会のことや議員の仕事などにスポットを当てながら市議会のことについて報告しました。



- 議会の仕組み
- 議会の運営
- 市民と議会
- 議会の構成
- 議員の仕事
- 委員会紹介
- 議会の活動報告  
など



## 第2部

# ワールドカフェ【意見交換会】

## ♡ ワールドカフェって？

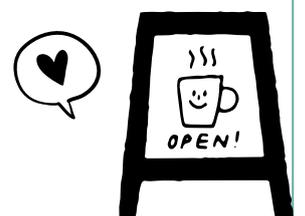
会議室で行う機能的な会議よりもカフェでおしゃべりするような自由な雰囲気の方がいきいきとした意見の交換や新たな発想の誕生が期待できるのではないかという考えに基づいた話し合いの手法です。

この手法で、さまざまな価値観や違った環境を持つ人たちが集まる中でも意見交換がしやすいこと、思いのまま自由に発言できること、また多くのアイデアが創出されることを期待し、今回もワールドカフェを開催することにしました。



今回も蒲生地区の応援塾の皆さまに協力いただきました。

おいしいコーヒーとアップルパイを用意くださり、飲み物やお菓子をいただきながら、参加者と議員がグループに分かれて、和気あいあいと意見交換を進めました。

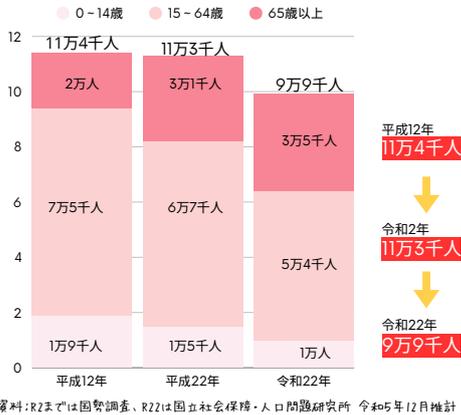


# テーマ「20年先のまちを語ろう」

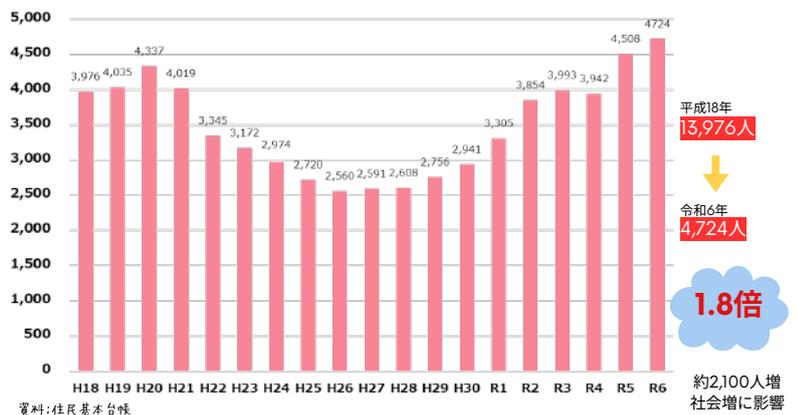
今回は総務・福祉教育こども・産業建設の常任委員会ごとに合併時と現在、そして未来の東近江市に関するデータを用いて語り合いました。

総務常任委員会

## 東近江市の人口の状況と今後の推移



## 東近江市の外国人人口の状況



福祉教育こども常任委員会

## 学童保育所登録児童数の推移

	入所者数	クラブ数
平成26年度	996	29
令和6年度	1,652	40

## 特別支援学級の児童とクラス数の推移

	児童数(全体)	クラス数(全体)	特別支援学級児童数	特別支援学級クラス数
平成18年	7,480人	306	107	42
令和6年	5,915人	305	473	88

産業建設常任委員会

## 中心市街地の店舗数の推移

平成12年	241
令和5年	251 (16)

( )内は新規出店数

## コストコの出店数

	全国	東近江市
平成18年	4	0
令和6年	35	1

## 農業関連(いちじく)

	生産者数	面積	収量
平成18年	12戸	1.3ha	35.24t
令和5年	33戸	3.7ha	109.93 t





## 総務常任委員会

### 高齢化社会

- ・ 20年後福祉制度が維持できるのか心配。
- ・ 元気な高齢者が普通になってくるのでは。←定年の更なる延長。
- ・ 壺型人口構成に移り、空き家が増加しているのでは。今後もっと増える可能性大。
- ・ サービス付き高齢者向け住宅を便利な場所に作ってもらえれば住みやすくなる。
- ・ 買い物やゴミ出しなど隣近所の助け合いの仕組みづくりが必要では。

### 少子化

- ・ 東近江市は子育ての環境（自然・施設など）は良いが、制度は今一つ。
- ・ 若い人が結婚したくなるような施策を（出会いの場づくりなど）。
- ・ 少子化が問題になっているが、子どもを預けることばかりでなく、自分で子育てしながら仕事ができる環境をつくりたい。
- ・ いろいろな手当では増えてきているがそれでも少子化が進むのはお金の問題なのか疑問。

### 移住定住施策

- ・ 東京から若い人が移住してくれるのは良いが近隣市町での取り合いは不毛。
- ・ 楽しい儲かる農業ができればどんどん若い人が移住してくるのでは。
- ・ 自然環境など田舎の良さをもっとアピールしていけばよい。

### 外国籍住人の増加

- ・ 外国籍の方のほうが元気がある。
- ・ 外国籍の人口が増加しているが、さまざまな国の宗教を学ぶ必要がある。
- ・ 外国籍の方とのコミュニケーションをとるのが難しく防災対策などが心配。自治会に加入してもらおうなど検討すべきでは。
- ・ 葬式のやり方で困るのではないか。
- ・ いろんな国の料理を普通に食べる社会になっていくのではないか。

### その他

- ・ AIの進歩やDX化で少子高齢化の社会でもやっていけると期待する。



# 福祉教育こども常任委員会

## 学童保育所

- 学童保育や特別支援教育の質を維持することが重要で、地方自治体だけでなく、日本全体で取り組むべき課題。
- 学童保育を利用する子どもたちが、もっと勉強に集中できる環境が必要。
- 核家族化が進み、祖父母に頼ることができない家庭が増えており、学童保育などの子育て支援が重要。
- 学童保育以外にも、子どもたちが自由に過ごせるオープンな共有スペースや選択肢を増やす必要がある。
- 親の働き方に柔軟性を持たせ、月に数回だけ働けるようなニーズに応じた働き方が必要。
- 学校内だけでなく、地域全体での結びつきを強め、子どもたちが地域の中で学び、支えられる仕組みが必要。

## 特別支援学級

- 社会全体で多様性を受け入れ、個々の特性やニーズに応じた個別最適な教育を提供することが求められる。ギフテッドの人々も大切にする必要がある。
- 学校でのICT活用に遅れている子どもたちへの対応が必要で、進度に合わせた個別対応の教育が求められる。
- 学校教育だけでなく、自然の中での体験や、卒業後の仕事や生活を考えさせる実践的な経験が必要。
- インクルーシブ教育を推進しようとしているが、実現が難しい現状がある。
- 子どもたちにボーダーラインを設けることが良いかどうかについて疑問。

## その他

- 子どもの主体性を大切にする教育が重要で、これが学童保育や特別支援教育にも役立つ。
- 宿題は不要であり、子どもたちが自分のペースで学ぶことが重要視される。

# 産業建設常任委員会



## 商工・観光関係

- ・ 中心市街地での買い物だけでは心の距離が遠い。買い物しやすい、利便性のある環境を。
- ・ 一日過ごせる大型店の出店とともに、高齢者のための身近なお店が必要。
- ・ 四季に応じた自然環境を観光施策に生かす。ホタル、星、紅葉、新緑の田園風景など。
- ・ 近年、中心市街地で50店舗を超える新規開業のお店が増えている。新規店の紹介・アピールが必要。
- ・ あいとうマーガレットステーションの客数を現在の70万人から100万人に。

## 農林業関係

- ・ 蒲生の農家は若者が引き継いでいる。この動きを市域に広げていけば。
- ・ 農業の担い手を増やすためには若い人が農業に魅力を感じる事が大切。
- ・ 子ども達がかもつと農業体験することが大切。
- ・ ドローンなどスマート農業を小学生や若い世代に体験してもらうことが必要。
- ・ いろんな果樹、野菜づくりを体験できる場が欲しい。教えてくれる場が欲しい。
- ・ 地産地消。農作物は作り手の顔が見える安心安全なお買物につながる販売を促進したい。
- ・ イチゴの農家は増えているが、梨やぶどう農家、お茶農家は減っている。対策が必要。
- ・ 学校給食の食材は地元産にすべき。子どもに地元の魅力を知らせる機会にもなる。

## 都市整備関係

- ・ 利便性や環境に配慮した公共交通網を構築していく。
- ・ バスやタクシーが地元近くに止まるようになった。ありがとう。
- ・ 八日市でゆっくり飲食が楽しめるよう公共交通の最終便の時間を延ばしてほしい。中心部の活性化にもつながる。
- ・ 能登川地域で家やアパートが増えている。一層の活性化を。

## その他

- ・ 楽しい学校給食へ。年1回有名料理店の料理を出すとか、鍋、すき焼きを出すなどが出ないか。
- ・ 解放的（野外での簡単な作業ができる等）な老人ホームなどの老人施設が欲しい。

# アンケート結果

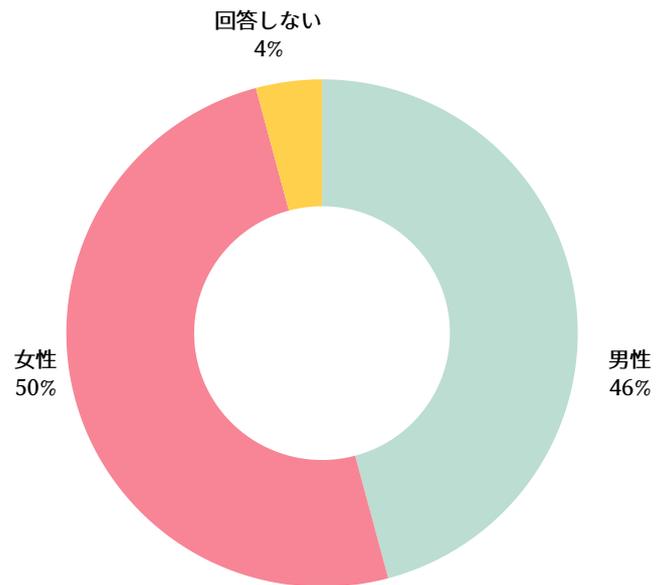


御参加いただいた皆さんにアンケートを実施しました。その結果は次のとおりでした。

## 質問1 あなたの性別は？

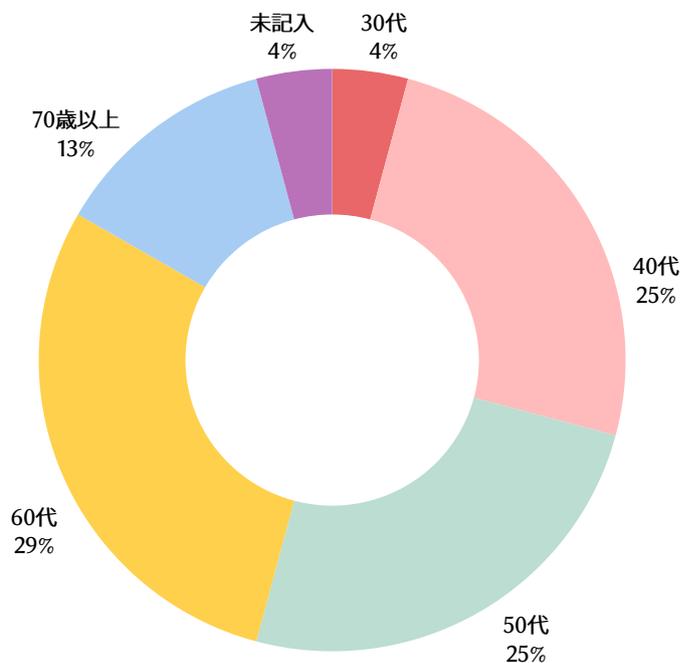
単位：人

性別	人数
男性	11
女性	12
その他	0
回答しない	1



## 質問2 あなたの年齢は？

単位：人

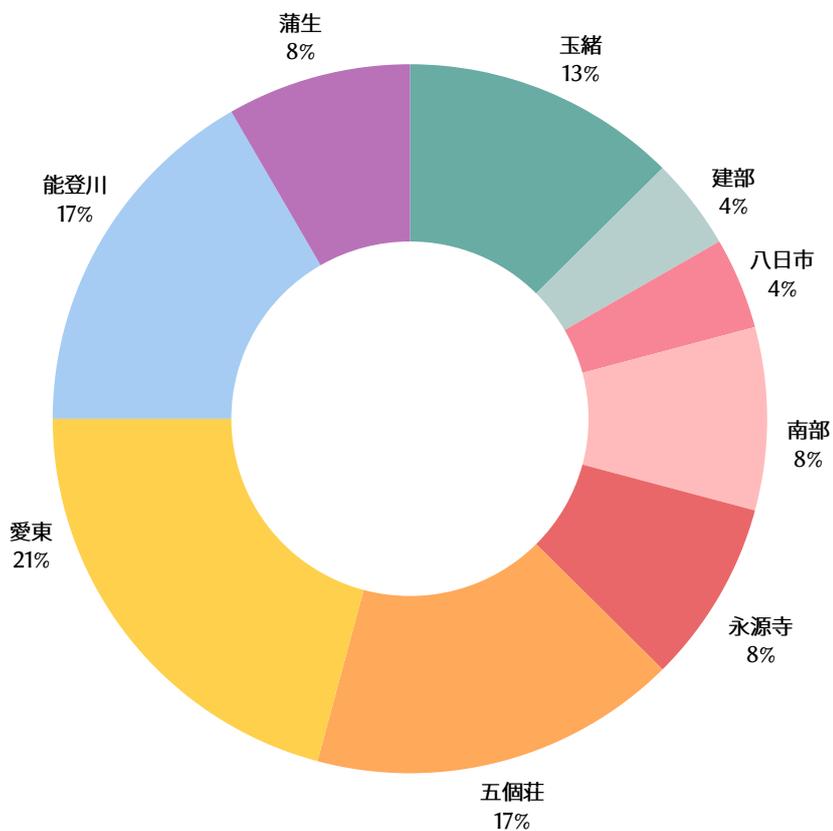


年代	人数
20歳未満	0
20代	0
30代	1
40代	6
50代	6
60代	7
70歳以上	3
未記入	1

### 質問3 あなたのお住まいは？

お住まい	人数
平田	0
市辺	0
玉緒	3
御園	0
建部	1
中野	0
八日市	1
南部	2
永源寺	2
五個荘	4
愛東	5
湖東	0
能登川	4
蒲生	2

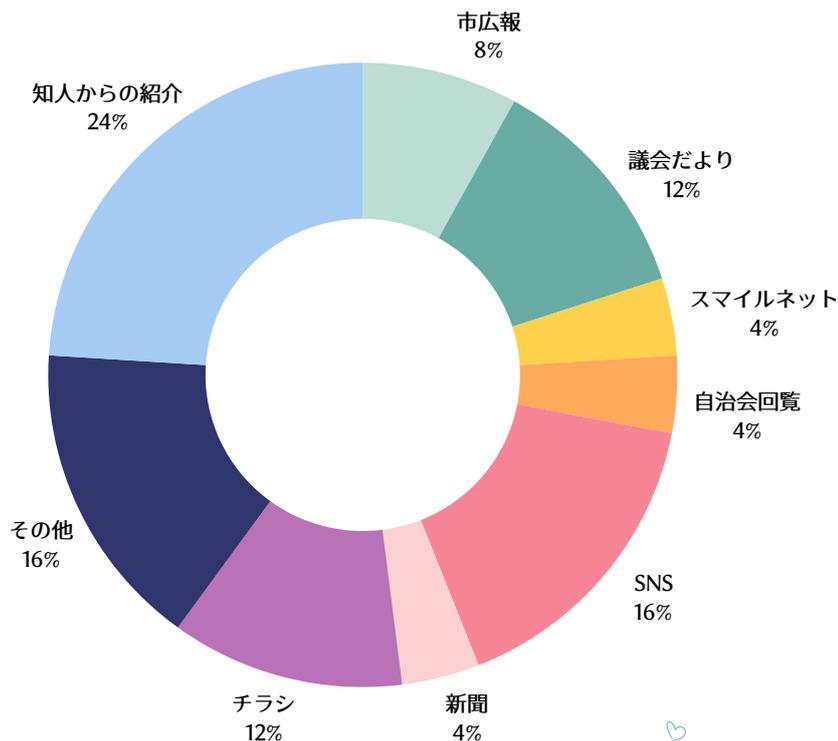
単位：人



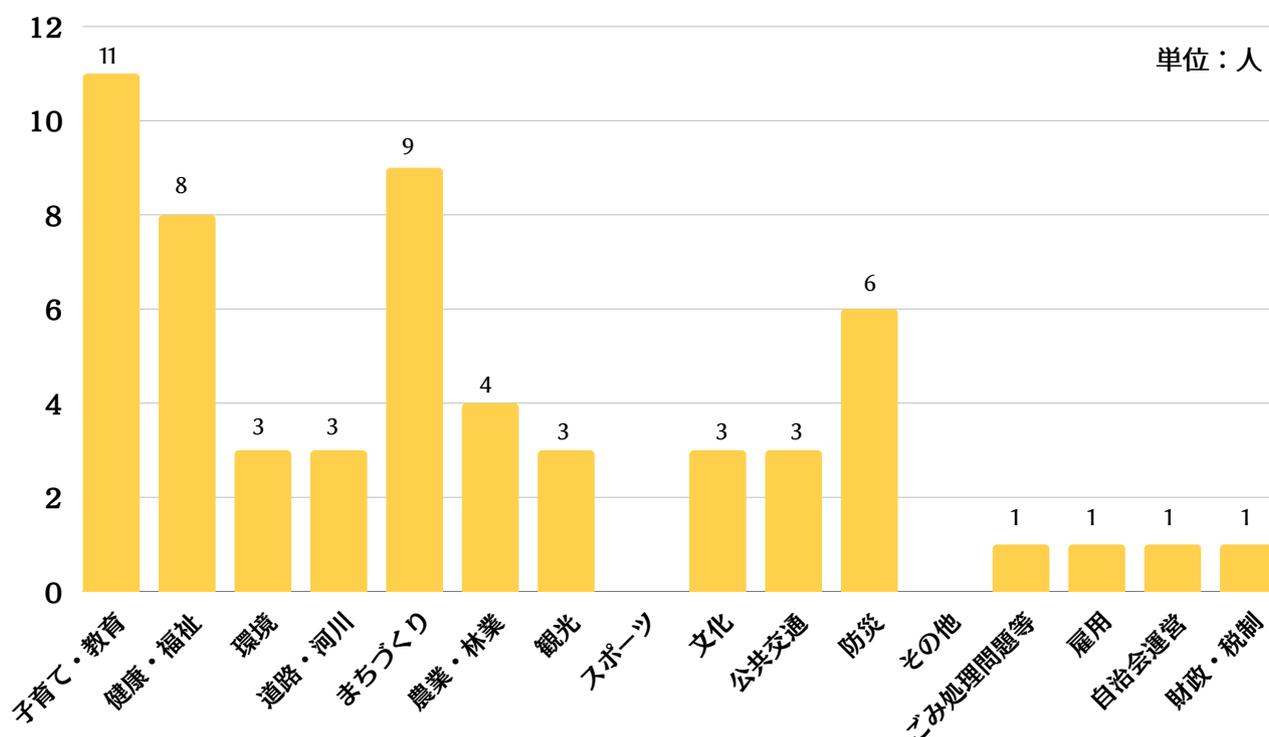
#### 質問4 何を見て参加されましたか？

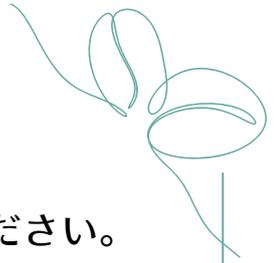
情報媒体	人数
市広報	2
議会だより	3
スマイルネット	1
自治会回覧	1
市ホームページ	0
SNS	4
新聞	1
チラシ	3
その他	4
知人からの紹介	6

単位：人



#### 質問5 次回意見交換会で取り上げてほしいテーマは？





**質問6** その他、意見・要望・お気づきの点などがあればご記入ください。

- ・参加者が少ない原因を考察してください。
- ・意見交換の時間を沢山とってください。
- ・今回のテーマは学童に携わっている人や親がいてくださらないと深い意見交換は難しいと思いました。
- ・意外なコミュニケーションが多く楽しく話せた。
- ・ざっくばらんにディスカッションできて良かった。
- ・意外と参加人数が少なく感じた。それでも有意義な時間を過ごすことが出来ました。
- ・3分野回るのではなく関心のある分野で時間をかけて話し合いたかった。
- ・空家や地方創生について話がしたい。
- ・議会取組報告と意見交換会の時間配分は丁度よかった。
- ・前回より会場は行きやすい場所だと思いましたが入口にスーツ姿の方々が沢山おられたので会場へ少し入りずらかったです。
- ・楽しかったです。定期的な対話の場を！
- ・議員とお話ができるいい機会でした。いつも市民の為に仕事をしてくださってありがとうございます。
- ・素晴らしいイベントでした。また参加したいです。ずっと続けてください。
- ・様々な御意見を聞くことができ、とても楽しく有意義でした。ありがとうございました。
- ・色々な問題点を知ることが出来、いろんな考えを聞くことが出来て良かった。
- ・テーマは「20年先のまちを語ろう」でしたが、「現状の問題点の改善」「こんなことできればいいなあー」「こんなことがあれば…」などの思いや希望を中心に交流されました。また、学校給食や老人施設まで話が及ぶなどの発展もありました。

多くの意見をありがとうございました。今後の市政や議会運営に役立てていきます。

今後もさまざまな取組で市民の皆様と意見交換をしていきたいと考えます。

御参加いただきました皆さまに感謝申し上げます。



# 意見交換会の様子



第1部は、市議会の仕組みなどを紹介するとともに、市議会議員の活動についても報告しました。

第2部は、グループに分かれての意見交換。総務・福祉教育こども・産業建設の3つの常任委員会がそれぞれ関連するデータを用意し、20年先の東近江市について語り合いました。





## 開かれた議会を目指して

編集 : 議会報告会運営委員会  
委員長 : 田井中 丈三  
副委員長 : 西崎 彰  
委員 : 森 鉄兵・中村 和広・浅居 笑・辻 英幸  
西村 和恭・廣田 耕康・竹内 典子  
オブザーバー : 西澤 由男